

こんにちは！ かめおかゆみこです。

いつも、メルマガ「今日のフォーカスチェンジ」をお読みいただき、  
ありがとうございます。

おかげさまで、この11月1日に、8年目を迎えることになりました。

ひと足早く、7周年記念企画として、

\*\*\*\*\*

子どもの輝く未来のために  
あなたがあなたを好きになる！

\*\*\*\*\*

というテーマで、記念セミナーを開催させていただきます。

そこで、このメルマガをお読みいただいているみなさんへの  
感謝の気持ちをこめて、三つの手紙を書くことにしました。

せっかくなので、  
はじめてビデオレターに挑戦してみました。  
ちょっと緊張していますけど。(^^ゞ

それでは、いってみたいと思います。

子どもの輝く未来のために  
いま、私たちにできること。

## 第一の手紙「手ばなすということ」

てばなす、ということは、結局のところ、  
私は、信頼するっていうことだと思うんですね。

私には、自分の子どもはいませんけど、脚本を担当して、もう  
10年かかわっている、横浜市青葉区小中高生ミュージカルとか、  
いくつかの場面で、子どもとかかわる機会があります。

子どもたちとかかわればかかわるほど、もうすべての子が、  
かわいくてしかたなくなります。ほんとに、いろいろな子がいますけど、  
どの子もみんな、すばらしい魅力にあふれているんです。

人間っていうのは、もともと生きているだけで充分に魅力的だって、  
私は思ってるんですけど、子どもたちについては、  
もう手放しで、ほんとに好きになっちゃうんですね。  
だからこそ、その魅力を最大限にひきだしてやりたいなあと  
思わずにはいられないんですね。

ただ。そんななかでも、私は、ひとつだけ決めていることがあるんです。  
それは、子どもというのは、  
てばなすためにかかわるんだ、ということなんです。

どんな子どもだって、いつかは、そこを離れていくわけでしょう。  
一生、1から10まで、面倒を見つづけることなんて、できないんです。

これは、親だって同じですよね。  
いつまでもおむつをかえてるわけじゃないし、  
子どもも、成長するにしたがって、考えかたも、  
だんだん変わってきます。  
それが当たり前の人間の成長というものですからね。

ただ、親という立場にいると、  
ついそのことがわからなくなりがちですよね。  
いつまでも手元にいてくれるような気がして、

私の場合は、たまたま、自分の子どもではないからこそ、  
そのことに、早く気づけたのかもしれません。  
中学校演劇部の外部指導員をしていたときには、  
3年ごとに離れていらっしゃいます。

小学3年生から参加してくる、横浜市青葉区小中高生ミュージカルでさえ、高校3年生になったら、さようならです。

ああ、子どもは離れていくものなんだなあ、  
一生一緒にいることなんてできない、  
同じ考えでいてくれることなんてないんだ、って。

でも、そのことが納得いってから、  
ますます、子どもたちが、かわいくてしかたなくなりました。  
だって、絶対にいつかは離れてしまうですからね。  
そしたら、いま、この瞬間に、  
最大限のことをせすにはいられなくなるんです。

その、最大限のこととは何かというと、  
その子を、とことん信頼するっていうことです。  
子どもですから、いろいろな態度を見せます。  
必ずしも、こちらの希望どおり、期待どおりにはいてくれません。  
正直、時には「このやろ」って思うこともありますよ。  
まあ、これはすべての人間に言えることですけどね。

だからこそ、たとえ表面では、どんなふうに見えていても、  
この子には、変わるちからがある、超えるちからがある、  
伸びるちからがある、と、

徹底的に信じることが、大切だと思ってるんです。

これね。ここがポイントなんですけど、  
いま、目の前で、すぐにできないとしても、  
いつかできる、その先を信じつづけて応援すると、  
子どもは、ちゃんと変わっていくんです。  
超えていくんです。伸びていくんです。

このことがわかったら、  
どんな思い切ったチャレンジだって提案できるんです。  
そして、その子がやる気になりさえすれば、  
あとは、全面的に応援するだけ！ 信頼して、信頼して、  
応援しつづけるんです

この話。直接、子どもとかかわる立場にいないひとは、  
よかつたら、「自分」に置き換えてみてください。  
自分には、変わるちからがある、超えるちからがある、  
伸びるちからがある…って、徹底的に信じてみるんです。

そして、思い切ったチャレンジを提案してみてほしいんです。  
そう、自分ですよ  
そしたらあとは、全面的に応援するだけです。

自分を信頼して、信頼して、応援しつづける。

子どもと同じで、いま、目の前で、すぐにできないとしても、

いつかできる、その先を信じつづけて応援する。

そしたら、あなたも、ちゃんと変わっていくんです。

超えていくんです。伸びていくんです。

かわいくてかわいくてしかたない子どもを応援するように、

かわいくてかわいくてしかたない自分を応援してあげてください。

「自分なんてかわいいと思えない」というひとは、

まずは、信頼するところからはじめてください。

「信頼なんてできない」というひとは、いまではなく、

いつかの未来を信頼してあげてください。未来は未知数ですから。

そうですよね？ あなたが、的中率 100% の予言者でないかぎり、

どんな信頼だって、できちゃうはずです。

だから、どっちにしても、応援する以外なくなっちゃうってことです。

結局、手ばなすっていうことは、

未来を勝手にコントロールしないってことだと思うんです。

いま、自分が想像している以上に、子どもも自分も、  
この先、変化していく可能性をもっているわけですから、  
いま見えていることだけで判断して、  
あれこれ決めちゃうのはもったいない。  
人間の生命というものにたいして、もったいない。  
私は、そういうふうに思うんです。

だから、信頼して、信頼して、  
お互に、すてきな未来をつくっていきましょう！  
…って、そういう提案をしたいんです。

いかがでしたでしょうか？

もしもこのメッセージに共感していただけたら、  
10月24日、東京は渋谷、子どもの城で開催される、  
メルマガ「今日のフォーカスチェンジ」の7周年記念イベントに、  
足を運んでいただけすると、とてもうれしいです。

こころからの感謝をこめて。  
ありがとうございます！